

令和 7 年度

看護学研究科（博士後期課程）

問題・出題の意図・解答のポイント

令和 6 年 9 月 1 日

高知県立大学大学院

小論文

問 日本の文化、価値観、生活様式などに根差した看護理論の構築が期待されています。わが国独自の看護理論を構築する上での課題を多角的に分析し、課題を克服するための方略について、あなたの考えを論述してください。

(200 点)

<出題の意図>

この設問を通して、わが国独自の看護理論を構築する上での課題について多角的な視点で捉えているかをみる。また、論述を通して、論理性、抽象的思考力、分析力、独創性をみる。

<解答のポイント>

わが国独自の看護理論を構築する上での課題について、日本の文化、価値観、生活様式などを尊重する姿勢、わが国の実情に合った看護理論であるかの吟味、看護理論の重要性に対する看護職者の認識、教育・研究者の育成などの視点から分析し、課題を克服するための方略について、自らの考えを論述していること。

英語

I 次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(50 点)

出典：出典：Walton, Mary K.: 5. Sources of Moral Distress: Ulrich, Connie M. and Grady, Cristine (Eds): *Moral Distress in the Health Professions*, Springer, 2018, p.79 より抜粋

<出題の意図>

大学院博士後期課程において、看護学を探究するために必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための基礎的な英文読解力をみる。

問1 “moral distress” という現象について筆者はどのように述べているか、要約してください。

(25 点)

<解答のポイント>

以下の内容を含んでいること。

- ・ 30 年以上前に定義されてから、臨床家や倫理学者が注目してきた
- ・ 臨床家の燃えつきや患者の予後不良など、人と医療システムの両方にとって否定的な結果と関連している
- ・ 医療に内在する他の情動ストレスとは区別される
- ・ さまざまな臨床場面で、全ての専門職集団が経験する
- ・ 根本的な原因として、構造的制約や権力階層などが考えられているなど

問2 “moral distress” に対応していくために必要な方策について、筆者の記述も参考にして、あなたの考えを述べてください。

(25 点)

<解答のポイント>

提示された英文をふまえ、自らの考えを述べていること。

Ⅱ 次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(50 点)

出典: Reed, Pamela G.: 13. A Paradigm for the Production of Practice-Based Knowledge:
Philosophical and Practical Considerations: Reed, Pamela G., Shearer, Nelma B. Crawford
(Eds): *Nursing knowledge and theory innovation: advancing the science of practice* Second
edition, Springer Publishing Company, 2018, pp. 206-207 より抜粋

<出題の意図>

大学院博士後期課程において、看護学を探究するために必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための基礎的な英文読解力をみる。

問 1 概念枠組みが知識の開発において果たす役割について、筆者はどのように述べているか、要約してください。

(25 点)

<解答のポイント>

以下の内容を含んでいること。

- ・ 理論化の効果的な第一歩であり、観察、相互作用、その他のデータを理論の形に変換するものである
- ・ 理論よりも具体性に欠けるが、構造を単純化し、関心のある現象を強調し、知識生産者としての実践家にとって関心のある側面を扱いやすい形にしたモデルを提供する
- ・ 探求する領域をマッピングし、問われるべき質問となされるべき観察を提示することで知識の産生を促進する
- ・ 研究と理論の対話を促進する

など

問 2 実践の中から知識を開発するためにはどのような取り組みが必要か、筆者の記述も参考にして、あなたの考えを述べてください。

(25 点)

<解答のポイント>

提示された英文をふまえ、自らの考えを述べていること。